

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年11月8日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 4960 URL http://www.chemipro.co.jp  
 代表者（役職名）取締役会長兼社長（氏名）福岡 直彦  
 問合せ先責任者（役職名）総管理部長（氏名）竹内 亨（TEL）078（393）2530  
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年3月期第2四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	4,797	68.9	280	—	198	—	198	—
22年3月期第2四半期	2,841	△44.9	△32	—	△292	—	△294	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第2四半期	11	99	—	—
22年3月期第2四半期	△17	79	—	—

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第2四半期	12,837		3,415		26.6	206	07	
22年3月期	13,017		3,223		24.8	194	45	

（参考）自己資本 23年3月期第2四半期 3,415百万円 22年3月期 3,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—	0	00	0	00
23年3月期	—	—	0	00						
23年3月期（予想）					—	—	0	00	0	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,600	39.5	430	343.3	260	—	240	—	14	48

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：有

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	16,623,613株	22年3月期	16,623,613株
23年3月期2Q	50,526株	22年3月期	48,346株
23年3月期2Q	16,574,202株	22年3月期2Q	16,577,349株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年5月10日に公表いたしました業績予想については、平成22年10月21日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において変更しております。なお、詳細については[添付資料] P 2 「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における世界経済およびわが国経済は、各国の景気刺激策により、一昨年秋のリーマンショック以降の世界同時不況から回復の足取りが弱いながらも改善を続けております。しかし、米国及び日本経済に減速感が出てきており、欧州経済は一部の国の財政問題による金融不安、また、中国経済の減速懸念などにより全体としては先行きに不透明感が強まってまいりました。

当社の属する化学業界は、国内外経済の回復傾向に加え、世界の自動車産業の回復基調により、その最悪期を脱し、前年秋口以降は受注量が徐々に増加する移行期となり、当第2四半期累計期間も受注量が増加傾向で、ピーク時の9割程度まで回復してきておりますが、グローバルな価格競争は依然厳しく、円高が進行するなか、収益環境は厳しいものとなりました。

このような状況下、当社の第2四半期累計期間の業績は、国内外経済の回復傾向に加え、当社主力製品である紫外線吸収剤の主たるユーザーである世界の自動車産業の回復により、引き続き受注量が増加傾向にあり、工業用の化成品、受託製品の受注状況も前期比かなり改善してきたことにより、売上高は前年同期比1,956百万円増収の4,797百万円(前年同期比68.9%増)となりました。

利益面は、前期の下半期(10月～3月)で、経常利益39百万円を計上するなど当社にとって明るい兆しが出てまいりましたが、当第2四半期累計期間においてもその基調は変わらず、利益率はやや低いものの、営業利益280百万円(前年同期は32百万円の損失)、経常利益198百万円(前年同期は292百万円の損失)、四半期純利益は198百万円(前年同期は294百万円の損失)を確保することができました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## (化学品事業)

当第2四半期累計期間の売上高は、グローバルな価格競争の影響がありましたものの、主力の紫外線吸収剤が世界の自動車産業の回復に伴う受注量の増加を受け、前年同期比1,331百万円増の2,965百万円(前年同期比81.5%増)と改善したことをはじめ、受託製品を含むその他の化成品、写真薬中間体などの堅調な受注増による増収要因があったことに加え、新規製品の添加剤の販売増が寄与したことなどにより、全体では同1,933百万円増の4,212百万円(同84.9%増)を計上いたしました。

## (ホーム産業事業)

当第2四半期累計期間の売上高は、主力の木材保存薬剤などが総じて堅調に推移し、前年同期比23百万円増の585百万円(前年同期比4.1%増)とほぼ横ばいで推移いたしました。

## (品目別販売実績)

(単位:千円,%)

事業区分	品目	当第2四半期累計期間		前年同第2四半期累計期間		増減 金額
		平成23年3月期		平成22年3月期		
		金額	構成比	金額	構成比	
化学品事業	紫外線吸収剤	2,965,633	61.8	1,633,810	57.5	1,331,823
	写真薬中間体	222,346	4.6	105,706	3.7	116,639
	製紙用薬剤	170,966	3.5	110,243	3.9	60,722
	電子材料	143,078	3.0	126,088	4.4	16,990
	酸化防止剤	109,371	2.3	75,423	2.6	33,947
	防錆剤	24,838	0.5	19,176	0.7	5,661
	染料中間体	12,017	0.3	2,504	0.1	9,513
	その他	564,179	11.8	205,848	7.3	358,330
(小計)	4,212,431	87.8	2,278,802	80.2	1,933,629	
ホーム産業事業	木材保存薬剤	483,212	10.1	470,685	16.6	12,526
	D I Y商品	27,940	0.6	34,243	1.2	△ 6,303
	その他	74,407	1.5	57,369	2.0	17,037
	(小計)	585,559	12.2	562,299	19.8	23,260
合計	4,797,991	100.0	2,841,101	100.0	1,956,889	

(注) 金額には消費税等を含んでおりません。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期末(以下「当四半期末」という)の総資産は、前事業年度末(以下「前期末」という)比180百万円減少し、12,837百万円となりました。流動資産は同32百万円減少の7,646百万円、固定資産は同145百万円減少の5,171百万円、繰延資産は同2百万円減少の19百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の増加額213百万円、受取手形及び売掛金の増加額73百万円、たな卸資産の減少額376百万円などによるものであり、固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産の減価償却等の減少額158百万円などによるものであります。

当四半期末の負債は、前期末比372百万円減少し、9,422百万円となりました。流動負債は同76百万円増加の7,349百万円、固定負債は同448百万円減少し、2,072百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が170百万円減少いたしましたものの、支払手形及び買掛金が277百万円増加したことなどによるものであり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金349百万円減少したことなどによるものであります。

当四半期末の純資産は、前期末比192百万円増加し、3,415百万円となりました。この増加の主な要因は、四半期末純利益が198百万円計上されたことによるものであります。この結果、自己資本比率は前期末の24.8%から当四半期末では26.6%と改善されました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は1,760百万円となり、前事業年度末に比して213百万円増加いたしました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動の結果、得られた資金は816百万円(前年同期比348百万円増)となりました。

これは主に税引前四半期純利益が202百万円計上されたこと、減価償却費が158百万円計上されたこと、たな卸資産が376百万円減少したこと、仕入債務が277百万円増加したことなどを反映したものであります。

投資活動の結果、使用した資金は37百万円(前年同期比80百万円減)となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出38百万円によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は564百万円(前年同期比289百万円増)となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出519百万円、リース債務の返済による支出44百万円によるものであります。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

世界経済およびわが国経済は、中国・欧州経済の不安が高まっているなか、主要各国が財政再建、緊縮財政に動き経済を減速させる懸念があり、金融市場での金利低下、ドル安が進行しており、全体として減速感の強い展開となりつつある状況となっております。

このようななか、今期の通期業績予想につきましては、売上高において、当社主力製品である紫外線吸収剤が、リーマンショック前の従来と同一水準まで回復すると予測され、9,600百万円を見込んでおり、また、利益面は、平成20年12月以降、経営改善の一環として実施しておりました従業員ならびに役員に対する人件費等のコスト削減をこの下半期より、ほぼ元の水準(役員は一部)に戻すこと、一部のたな卸資産で経年による簿価切下げ処理があること、円高進行による利益圧迫等のマイナス要因があり、営業利益は430百万円、経常利益は260百万円、当期純利益は240百万円となる見込みであります。

なお、第1四半期まで継続企業の前提に関する重要事象等としてリスク情報開示いたしておりましたが、相応の売上高並びに利益が確保できる状況となったこと、在庫削減等による財務体質の改善と営業キャッシュ・フロー(当第2四半期累計期間実績:816百万円)も確保していること等により、当該リスク情報については記載しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の定率法に基づく減価償却費については、当第2四半期会計期間を含む事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、この適用に伴う損益に与える影響はありません。

#### 2. 四半期キャッシュ・フロー計算書における表示方法の変更

前第2四半期累計期間において、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「リース債務の返済による支出」は重要性が増したため、当第2四半期累計期間より区分掲記しております。

なお、前第2四半期累計期間の「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「リース債務の返済による支出」は40,594千円であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,760,342	1,546,378
受取手形及び売掛金	2,229,575	2,156,509
商品及び製品	3,123,138	3,537,852
仕掛品	138,981	90,045
原材料及び貯蔵品	293,135	304,081
その他	120,041	67,746
貸倒引当金	△19,180	△24,148
流動資産合計	7,646,034	7,678,465
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,186,833	1,231,282
土地	2,980,462	2,980,462
その他(純額)	765,485	840,803
有形固定資産合計	4,932,782	5,052,548
無形固定資産		
	55,150	62,376
投資その他の資産		
投資有価証券	90,381	97,445
その他	113,977	121,953
貸倒引当金	△20,706	△17,426
投資その他の資産合計	183,652	201,971
固定資産合計	5,171,586	5,316,897
繰延資産	19,761	22,057
資産合計	12,837,381	13,017,419
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,576,843	1,299,401
短期借入金	4,600,000	4,600,000
1年内返済予定の長期借入金	693,316	863,316
未払法人税等	12,427	13,101
賞与引当金	65,500	26,701
その他	401,557	470,901
流動負債合計	7,349,645	7,273,422
固定負債		
社債	250,000	250,000
長期借入金	942,493	1,292,151
退職給付引当金	241,558	229,095
環境対策引当金	2,172	—
その他	636,308	749,610
固定負債合計	2,072,532	2,520,856
負債合計	9,422,177	9,794,278

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,052,562	1,052,562
利益剰余金	219,061	20,388
自己株式	△13,394	△13,139
株主資本合計	3,413,582	3,215,164
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,621	7,976
評価・換算差額等合計	1,621	7,976
純資産合計	3,415,204	3,223,141
負債純資産合計	12,837,381	13,017,419



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,841,101	4,797,991
売上原価	2,334,189	3,956,110
売上総利益	506,911	841,880
販売費及び一般管理費	539,361	561,480
営業利益又は営業損失(△)	△32,449	280,400
営業外収益		
受取利息	133	114
受取配当金	1,038	2,063
受取賃貸料	16,080	15,994
その他	6,290	6,452
営業外収益合計	23,542	24,624
営業外費用		
支払利息	71,591	65,690
生産休止費用	197,802	—
為替差損	—	22,142
その他	13,773	18,641
営業外費用合計	283,167	106,474
経常利益又は経常損失(△)	△292,075	198,550
特別利益		
投資有価証券売却益	225	—
貸倒引当金戻入額	1,071	6,415
特別利益合計	1,296	6,415
特別損失		
固定資産除却損	25	—
環境対策引当金繰入額	—	2,172
特別損失合計	25	2,172
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△290,804	202,794
法人税、住民税及び事業税	4,120	4,120
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△294,924	198,673

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,457,507	2,358,394
売上原価	1,188,257	1,923,454
売上総利益	269,249	434,940
販売費及び一般管理費	267,832	281,426
営業利益	1,417	153,513
営業外収益		
受取利息	104	88
受取配当金	13	10
受取賃貸料	4,520	6,805
補助金収入	2,426	3,314
その他	970	1,511
営業外収益合計	8,034	11,730
営業外費用		
支払利息	35,299	32,302
生産休止費用	76,485	—
為替差損	—	12,180
その他	6,301	9,417
営業外費用合計	118,087	53,900
経常利益又は経常損失(△)	△108,634	111,343
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,097	5,472
特別利益合計	2,097	5,472
特別損失		
固定資産除却損	25	—
特別損失合計	25	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△106,562	116,816
法人税、住民税及び事業税	2,060	2,060
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△108,623	114,756

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△290,804	202,794
減価償却費	177,901	158,053
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△9,725	12,463
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△392,500	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△645	38,798
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,758	△1,688
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	—	2,172
受取利息及び受取配当金	△1,171	△2,177
支払利息	71,591	65,690
売上債権の増減額 (△は増加)	206,995	△73,065
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,186	376,724
仕入債務の増減額 (△は減少)	370,627	277,441
その他	425,923	△174,252
小計	542,248	882,953
利息及び配当金の受取額	1,174	2,225
利息の支払額	△67,121	△64,357
法人税等の支払額	△8,275	△4,610
営業活動によるキャッシュ・フロー	468,026	816,210
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△125,254	△38,492
投資有価証券の売却による収入	7,709	—
その他	△17	1,131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,562	△37,361
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,200,000	3,450,000
短期借入金の返済による支出	△2,100,000	△3,450,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△657,327	△519,658
社債の発行による収入	223,350	—
自己株式の取得による支出	△242	△254
リース債務の返済による支出	—	△44,925
配当金の支払額	△98	△46
その他	△40,594	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274,911	△564,884
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	75,553	213,964
現金及び現金同等物の期首残高	1,861,114	1,546,378
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,936,667	1,760,342

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1. 生産実績

(単位：千円)

事業別	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
化学品事業	3,855,740	2,583,646
ホーム産業事業	366,504	388,952
合計	4,222,244	2,972,598

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2. 商品仕入実績

(単位：千円)

事業別	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
化学品事業	138,916	81,260
ホーム産業事業	154,791	153,616
合計	293,708	234,877

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 3. 受注実績

当社は見込生産を行っているため、該当事項はありません。

## 4. 販売実績

単位：(千円)

事業別	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
化学品事業	4,212,431	2,278,802
ホーム産業事業	585,559	562,299
合計	4,797,991	2,841,101

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。